

## 第3回委員会会議結果（案）

	会 議 結 果 要 旨
第 3 回 委 員 会 議	<p>○「背後地利用と胸壁計画」関連 [主な意見及び対応]</p> <p>〈富田委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の護岸では、毎年台風で必ずなにがしかの被害が出ているため、現護岸を早く短期間で守って欲しい。</li> </ul> <p>〈大野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三割の石積み護岸が、現直立護岸と比べて三番瀬海域の保全と再生にどのような役割を果たすのか示す必要がある。</li> </ul> <p>〈田草川委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県からの提案護岸は、円卓会議で議論しつくされた構造を基としており、基本構造としてはやむを得ないものと思っている。</li> </ul> <p>〈清野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然や生態系の環境保全については、県の海岸保全基本計画でも方向性が示されているが、最終的には地域の人々の意思決定に委ねられている部分が多い。</li> </ul> <p>○「護岸構造のバリエーション」関連 [主な意見及び対応]</p> <p>〈工藤委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ウッドデッキ」や「粗朶」といったものは、比較的短期間で壊れ、その都度直す必要があるものであるから、胸壁を含めた護岸とは分けて議論すべきである。</li> <li>・ 石積みの石は必ず沈下し、その修正が必要となるが、これはセルフデザインの範囲であり、その議論はトライアンドエラーとして残しても良いのではないか。</li> </ul> <p>〈倉阪委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本委員会の結果は、再生会議への報告等があるため、三番瀬再生への寄与が説明できるよう、護岸構造の違いによる生態層の復活に対する効果についての議論をしておく必要がある。</li> </ul> <p>〈富田委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在は、毎日が危ない状況にあるため、捨て石部分の工事を優先して欲しい。</li> </ul> <p>〈大野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 群馬県などには、足場材として植林された「カラ松林」が多数あり、これをイカダや杭として使用し、流域を原生林化すれば、結果として三番瀬の再生に繋がって行くことから、考えていくべきである。</li> </ul> <p>〈清野委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粗朶については、北陸の三国港の護岸工事で検討されており、その他土木学会誌等にも資料があるので、意見を生かす方向で検討して頂きたい。</li> </ul>

会 議 結 果 要 旨

第 3 回 会 議

〈後藤委員〉

- ・ 将来、砂が付きやすい構造にしておいた方が、長期計画に対してもまた環境に対してもいいのではないか。

〈歌代委員〉

- ・ 砂を投入しても、~~吉井~~<sup>風名田</sup>先生によれば現生物は必ず戻ってくるとのことであり、全滅はしないのだから地元代表としてはすぐにでも実施して欲しい。

〈竹川委員〉

- ・ 塩浜 3 丁目は、現行で防災と環境のバランスがとれているので、すぐにお金をかけてやる必要はないと思う。

〈倉阪委員〉

- ・ 魅力ある海岸線となるよう、バリエーションの工夫を検討されたい。
- ・ 護岸直下のハビタットは復活するのか。
- ・ 泥干潟への影響はどうか。
- ・ 滞筋底部についての評価をすべきである。
- ・ 再生会議への説明を考えた場合、自然再生あるいは環境学習の場についての方向付けをしておく必要がある。

〈清野委員〉

- ・ 改修区間の中で一番厳しい所を優先的に、今年度の予算の範囲内で出来る捨て石の延長と場所をきちんと説明されたい。

〈井上委員〉

- ・ 県としては、今年度予算で工事をしなければならぬと言うことがあり、海苔養殖からくる工事可能期間、あるいは今後の手続き等を考えた場合タイムリミット寸前な状況となっている。ついては、工事の実施箇所や構造等を整理した上で、再度提案させていただきたい。
- ・ 断面を一度決めたからと言って、全てその断面で実施するというのではなく、修正すべき点は修正しながら実施していきたい。

○「その他」関連

- ・ 第 4 回の委員会は、9 月 30 日（金）に開催することが決定された。

●傍聴者からの意見

〈牛野氏〉

- ・ 災害に対しては、現在防災と言うよりも減災と言われており、護岸高さは、こういったことを考えて詰めて頂きたい。

〈佐々木氏〉

- ・ 護岸を前に出すことは非常にコストダウンとなるが、自然対価と金銭対価の議論が少ないのでは無いか。